

学校だより

# 南京はぜ

「子どもたちの夢の実現に向けて」

学校教育目標

「かしこく・やさしく・たくましい子」

二小っ子根っこづくり運動

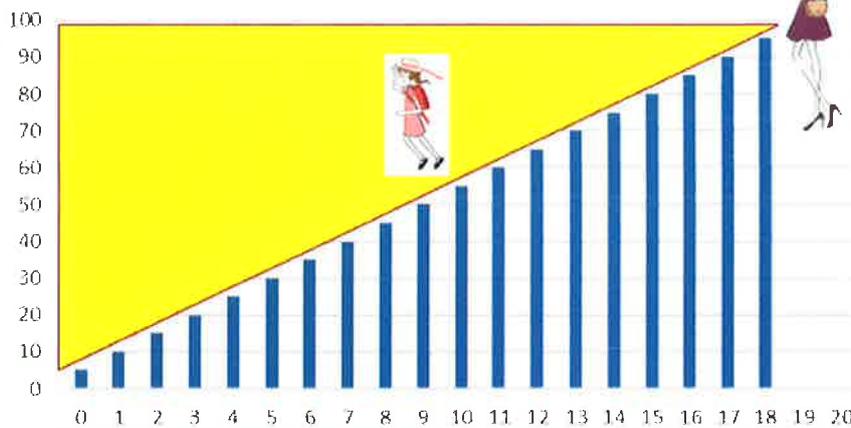
- 進んであいさつ、元気な返事
- はきものそろえ
- 勉強集中
- だまってそうじ
- 元気に外遊び



## 「自立に向け、自分でできることを増やす」(終業式の校長講話から)

### 成長すると自分でできることが増えてくる

自分でできること



4月6日（1年生は8日）の学級開きから、あっという間に4か月が過ぎ、1学期の終業式を迎えることとなりました。子どもたちにとっては、いろんなことが成長できた1学期ではないかと思えます。

本日、あゆみ（通知表）をお渡ししていますので、保護者の方には子どもたちとともに、成果を確認しながら、2学期に向けての目標を立てていただければと思います。

上のグラフは、0歳から18歳（成人）まで、自分でできること・すべきことのイメージをグラフ化したものです。数字の上に伸びている線が、その年齢で自分ができていること、すべきことの目安です。

直角三角形の部分は、親や先生、いろんな人に手助けしてもらう部分になります。

0歳、赤ちゃんの時は、呼吸は自分でしていますが、ご飯を食べたり、トイレに行っておしりをふいたりなどは、自分ではできません。ほとんどのことを大人がお世話をしなくてはなりません。

今年度から成人が18歳となりましたので、18歳になったら、料理や洗濯、買い物、部屋の掃除から、お金の支払いなど全て自分で行うの基本。それが大人になるということです。

18歳の半分がちょうど9歳ですから、3～4年生がそうじ、身の回りの整理、食器の後片付け、靴ならべ、しっかり勉強など18歳の大人がやるべきことの半分くらいは自分でできないといけません。

なぜならば、自立とはそれぞれの年齢で少しずつ成長していき、18歳で完成を目指すものだからです。だからこそ、節目節目で今自分ができていること、できていないことを確認し、目標を立てることが必要なのです。ぜひ、ご家庭でも子どもたちが自立に向けて、取り組む場を作ってあげてください。

#### 【霊丘コソコソ噂話】

子どもの頃、私にとって、終業式の日、ちょっとだけ、嫌な日でした。私は落ち着きのない子で、欠点やできていないところがたくさんあったので、通知表を親に見せた時、叱られるのが嫌だったからです。

二小っ子には「終業式=叱られる日」にならないよう、ぜひお子様の頑張りをほめてあげてください。